

9月 岩国市・和木町ブロック シャベリ場を開催しました。

9月20日（金）19時～21時 岩国福祉会館 3階会議室にて、岩国市・和木町ブロック主催で「シャベリ場」を開催しました。

今回は、小規模多機能ホーム ティエラの野上氏に、『小規模多機能型居宅介護事業所における認知症ケアについて』というテーマで、機能やその強み、他サービスとの相違点、期待されるもの・課題など、わかりやすくお話していただきました。

また、事例にて、ある利用者のサービスの利用状況についてお話いただきました。この研修に参加しているケアマネジャーであればどのような援助のプランニングをするかという質問では、具体的な検討がなされ皆さん熱心に耳を傾けていました。

後半では、イギリスの臨床心理学者である故トム・キッドウッドさんが提唱した認知症ケアの考え方、パーソンセンタードケアにおける「悪性の社会心理」について教えていただきました。

その中で、認知症の方に対する誤った対応のひとつとして、「だましたり、あざむくこと」があり、介護者の「後でね」というような厳しくいえばいい加減な対応では、認知症の方は100%怒る。いままでの方法ではごまかしていたところを、介護者が付き合っ、付き合っ対応することで、本人が納得しないとダメ。何に納得するかということを掘り下げていく。その人に普段から付き合っっていくこと。それが出来るのが小規模多機能型居宅介護事業所の強みである。根気強く関わっっていくことが大事ですと言われていたのが印象的でした。

また、アメリカのソーシャルワーカーナオミ・フェイルさんが開発した認知症の方とのコミュニケーション術のひとつである「バリデーション」について勉強しました。

【小規模多機能型居宅介護事業所の一例】

日中4～6名の介護スタッフが勤務し、通いサービスの利用者と訪問の利用者の介護を行い、夜間は夜勤スタッフ1名で宿泊利用者の介護を行われているとのこと。さらに夜勤スタッフ以外に宿直スタッフがおり、自宅待機にて、宿直者の緊急対応、在宅への訪問を行うそうです。

他サービスとの相違点を挙げていただきました。

○デイサービスとの違い

「利用時間の融通性、利用者個々のペースに合わせた過ごし方」
ゆったりした過ごし方ができること等。

○ショートステイとの違い

「通いサービスで見知った場所・スタッフであること」

デイサービスで過ごしているところで泊まりたいというニーズを満たす等。

○訪問介護との違い

「外出介助（通院・買物）がプランに組み込める」等。

○グループホームとの違い

「家での生活・介護者家族を意識した介護」

基本は家での生活をベースに、在宅でしてきたこと、家族の要望を最大限生かすケアを行っている。

小規模多機能型居宅介護に期待されるもの・課題

「地域との連携」

2ヶ月に1回、運営推進委員会を開催。また、地域の民生委員らの会議に積極的に参加されているとのこと。会議では、有料老人ホームへの興味は持たれても、なかなか地域活動への参加となると敷居が高い。

以上

★大変有意義な研修となりました。野上さん、本当にありがとうございました★